

市議会だより

3月定例会

平成27('15)年5月1日発行



平成27年4月8日に新1年生109名が入学し、明治5年の学制発布以来歴史ある桶川小学校9年目を総勢705名で元気にスタートしました。

主な内容

- ◎新年度主要事業
2ページ
- ◎新年度当初予算等
3ページ
- ◎条例等の議案内容
4ページ
- ◎審議された議案と結果
5ページ
- ◎一般質問(13人)ほか
6~12ページ
- ◎議会報告会
13ページ
- ◎編集後記ほか
14ページ

◆ 3月定例会日程 ◆

- 2月23日 開会、市長の行政報告、委員会の委員長報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 24日 市長提出議案の質疑・討論及び表決
- 27日 総務常任委員会
- 3月 2日 民生経済常任委員会
- 3日 建設文教常任委員会
- 4日 一般会計歳入予算質疑(全体審議)
- 5日~11日 常任委員会(一般会計歳出の所管事務調査)
- 12日 一般質問(保坂・渡邊・白田・岩崎・糸井)
- 16日 一般質問(加藤・仲又・江森・相馬・新島)
- 17日 一般質問(鳥村・佐藤・永野)
- 19日 特別会計(国保・下水・介護・後期)歳入歳出予算質疑(全体審議)
- 23日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、委員会(所管事務調査)の委員長報告、市長提出議案(当初予算一般会計歳出)の総括質疑
- 24日 市長提出議案(当初予算)の討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明・質疑・討論及び表決、閉会

平成27年度当初予算等

平成27年3月定例会は、2月23日から3月24日まで30日間開催されました。今定例会では、市長提出議案24件が提案され、審議の結果すべて原案のとおり可決となりました。

新年度予算における主要事業について、その一部をご紹介します。

平成27年度 主要事業

●市制施行45周年事業

11月3日に45周年を迎えるに際し、表彰式典を行い、まちづくりに尽力された方、公共の福祉増進等に功績があった方、スポーツ等で優秀な成績を収めた児童生徒などを表彰するものです。

●**バスポート窓口開設事業**
営を行うための組合の事業費を負担するものです。

●**バスポート窓口開設事業**
本年10月から仮設庁舎内に、バスポート窓口を開設し、申請・受取りが行えるようになります。

●**ごみ収集運搬事業の完全民間委託**
ごみの収集を全て民間委託し、分別指導及びパトロール業務の強化などに努めるものです。

●**おけがわ市民花火大会実行委員会補助金**
9月19日(土)総合運動場を会場に実施される花火大会を運営する実行委員会に対し、事前準備、設営などの経費の一部を補助するものです。

●**生活習慣病重症化予防対策事業**
かかりつけ医の指示のもと、保健師などが生活習慣を改善するための支援等を行い、早期発見・早期治療に結びつけるものです。

●**駅構内内方線付点状ブロック整備事業**
桶川駅上下線ホームに内方線付点状ブロックを設置するための費用を補助するものです。

●**生活困窮者自立支援事業**
生活困窮者に対し、自立相談支援、住宅確保給付金支給、就労準備支援、学習支援などを行うものです。

●**長久保踏切改修事業**
桶川駅北側の長久保踏切の改良を行い、利用者の安全性を確保するものです。工期は、6月中旬から11月にかけて(7月下旬〜8月を除く)を予定しており、夜間の作業となります。

●**小・中学校給食室空調機器整備事業**
調理員の労働環境の改善を図るため、10年間リース方式で給食室にエアコンを設置するものです。

●**整形外科医による児童・生徒の健診事業**
健診の一層の充実を図るため、整形外科医による脊柱側弯症にかかる健診を実施するものです。対象は小学5年生及び中学1年生となります。

●**小1プロブレム対策推進事業**
小学校低学年(原則1年生)の学級に学級支援員を配置し、児童の生活指導・安全指導・各教科の指導等について、担任の補助を行うものです。

●**新庁舎建設事業**
27年度は次のことを実施するものです。

①実施設計等委託
②総合評価方式支援業務委託
③旧庁舎解体工事及び解体に伴う設計委託
④周辺家屋事前調査委託

●**住宅リフォーム資金補助金**
市内業者などに依頼して住宅リフォームを行う際に、経費の10分の5または10万円のどちらか低い額を補助するものです。

●**朝日放課後児童クラブ整備事業**
朝日小学校内に新たに設置するとともに、対象年齢を拡大し、定員数を50人から80人に増員するものです。

●**セカンドブック事業**
本の好きな想像力のある子供を育てることを目的に、小学1年生の児童に本をプレゼントし、楽しく本を読むきっかけ作りをするものです。

●**坂田寿線整備事業**
桶川東中学校付近(第1工区)と国道17号線交差点付近(第2工区)の間、延長約256m(第3工区)の用地買収に着手するものです。

●**駅西口図書館拡充整備事業**
駅西口図書館を拡大整備し、民間書店と併設する予定です。さらに指定管理者による運営も視野に入れ、利便性の向上や業務の効率化を図るものです。

●**放課後子供教室運営事業**
平成24年9月に日出谷小・桶川東小の2校で開設した放課後子供教室に加え、新たに桶川西小・朝日小の2校に開設するものです。

●**老朽化に伴う建物及び設備の改修工事を実施する事業**
老朽化に伴う建物及び設備の改修工事を実施する

●**埼玉中部資源循環組合負担金**
組合設立に伴うごみ処理施設の建設及び管理運

●**市民ホール大規模改修事業**
老朽化に伴う建物及び設備の改修工事を実施する

●**駅東口整備事業**
東口駅前広場等の整備

●**生活習慣病重症化予防対策事業**
かかりつけ医の指示のもと、保健師などが生活習慣を改善するための支援等を行い、早期発見・早期治療に結びつけるものです。

●**生活困窮者自立支援事業**
生活困窮者に対し、自立相談支援、住宅確保給付金支給、就労準備支援、学習支援などを行うものです。

●**小・中学校給食室空調機器整備事業**
調理員の労働環境の改善を図るため、10年間リース方式で給食室にエアコンを設置するものです。

●**生活習慣病重症化予防対策事業**
かかりつけ医の指示のもと、保健師などが生活習慣を改善するための支援等を行い、早期発見・早期治療に結びつけるものです。

●**生活困窮者自立支援事業**
生活困窮者に対し、自立相談支援、住宅確保給付金支給、就労準備支援、学習支援などを行うものです。

●**生活習慣病重症化予防対策事業**
かかりつけ医の指示のもと、保健師などが生活習慣を改善するための支援等を行い、早期発見・早期治療に結びつけるものです。

●**生活困窮者自立支援事業**
生活困窮者に対し、自立相談支援、住宅確保給付金支給、就労準備支援、学習支援などを行うものです。

●**生活習慣病重症化予防対策事業**
かかりつけ医の指示のもと、保健師などが生活習慣を改善するための支援等を行い、早期発見・早期治療に結びつけるものです。

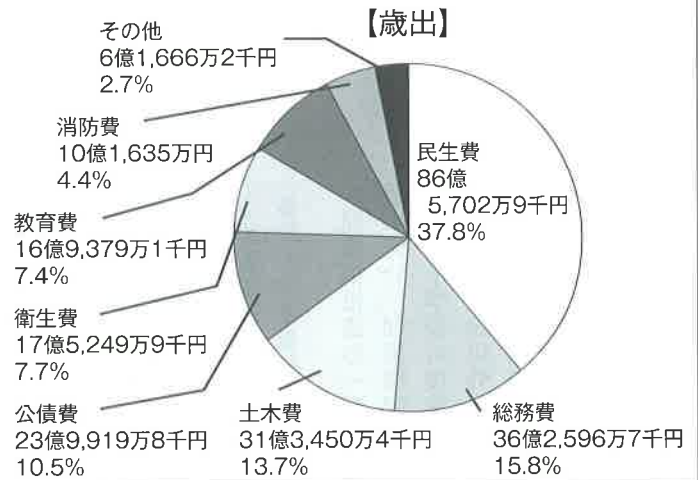
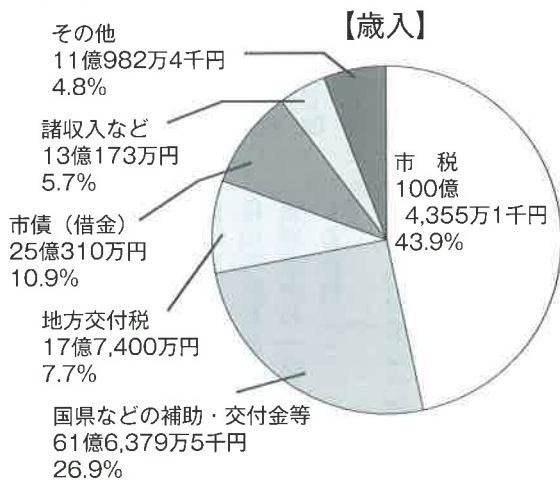
●**生活困窮者自立支援事業**
生活困窮者に対し、自立相談支援、住宅確保給付金支給、就労準備支援、学習支援などを行うものです。

平成27年度 当初予算の内訳は次のとおりです。

■総額396億円

一般会計 228億9,600万円 57.8%	特別会計			
	国民健康保険 90億9,800万円 23.0%	公共下水道事業 21億3,800万円 5.4%	介護保険 46億200万円 11.6%	後期高齢者医療 8億6,600万円 2.2%

■一般会計予算内訳



補正予算

一般会計

第1号議案

平成26年度桶川市一般会計補正予算(第5回)

年度末により不用が見込まれるもの等について整理するもので、歳入歳出予算にそれぞれ447万9,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ215億8,252万1,000円とするものです。

特別会計

一般会計と同様の理由により提案されました。

第2号議案

平成26年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

歳入歳出予算からそれぞれ3億3,349万4,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ81億9,838万2,000円とするものです。

第3号議案

平成26年度桶川市公共下水道事業特別会計補正予算(第3回)

歳入歳出予算からそれぞれ1億7,776万8,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ16億4,768万5,000円とするものです。

第4号議案

平成26年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第3回)

歳入歳出予算からそれぞれ3億915万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ43億801万4,000円とするものです。

第5号議案

平成26年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)

歳入歳出予算からそれぞれ2,182万1,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億113万3,000円とするものです。

追加

補正予算

一般会計

第22号議案

平成26年度桶川市一般会計補正予算(第6回)

国の、緊急経済対策に伴う経費等への対応のため、歳入歳出予算にそれぞれ1億7,185万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ21億5,437万1,000円とするものです。主な事業は、プレミアムつき商品券の発行と図書館整備経費です。

特別会計

第23号議案

平成26年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4回)

緊急に必要となった経費への対応のため、歳入歳出予算にそれぞれ329万3,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億442万6,000円とするものです。

条例の改正等

第11号議案
桶川市行政手続条例の一部を改正する条例

平成26年6月13日に「行政手続法」の一部を改正する法律が公布され、行政指導の中止等の求め、処分等の求め等について規定されることになったため、同様に改正するものです。

第12号議案
公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例

平成18年に公益法人制度改革3法が公布され、桶川市シルバー人材センター、桶川市施設管理公社及びびやき文化財団がそれぞれ公益法人化したことによる名称変更に伴い、改正するものです。

第13号議案
桶川市手数料条例の一部を改正する条例

建築基準法の一部改正

及び住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく住宅の性能表示事項の範囲が改正されたことに伴い、同法に基づく住宅性能評価書を活用した長期優良住宅建築等計画の認定が可能となり、それに係る手数料について改正するものです。

第14号議案
桶川市図書館設置条例の一部を改正する条例

駅西口図書館の新たなサービスを構築するにあたり、指定管理者による管理が可能となるよう、指定の手続き及び運営等に関する規定を条例に追加するものです。

第15号議案
桶川市体育施設設置管理条例の一部を改正する条例

桶川サン・アリーナのメインアリーナ、卓球場、柔道場及び剣道場の利用料金について、近隣市との均衡を図り、施設及び

設備状況に合うよう改定するものです。

また、トレーニング室の利用時間帯に、1.5時間を新設するものです。

第16号議案
桶川市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例

児童福祉法の一部改正に伴い、保育時間について保育の必要量に応じた認定区分の設定に変更すること、また、利用者負担等の額及び納付の方法について、新たに規定をするものです。

第17号議案
桶川市放課後児童クラブ設置管理条例の一部を改正する条例

児童福祉法の一部改正等に伴い、利用時間については小学校の授業の休業日と休業日以外の日との区分に応じた利用時間帯とすること、入所対象児童については小学校6年生までとすること及び負担金月額については市

町村民税の所得割課税額を基に算出すること等に変更するものです。

第18号議案
桶川市児童発達支援センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

児童福祉法の一部改正に伴い、引用部分の条文の字句を整理するもので、内容についての変更はないものです。

第19号議案
桶川市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令の一部改正に伴い、保険料率の改定及びその他所要の改正を行うものです。

また、医療介護総合確保推進法により介護保険法が改正され、平成27年4月から実施となる介護予防・日常生活支援総合事業への移行に対応するために新しいサービスの受け皿の確保や医療、介護等の関係機関との調整

などに準備期間が必要なことから猶予期間を定めるものです。

第20号議案
桶川市いじめ防止連絡協議会等条例

いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ防止連絡協議会、いじめ対策委員会及びいじめ問題再調査委員会を設置するため、新たに条例を制定するものです。

第21号議案
財産の取得について

桶川市坂田西特定土地区画整理地内の5千717平方メートルの保留地等を桶川市土地開発公社から公共用地として取得するものです。

討 論

討論があつた議案は次のとおりです。採決の結果すべて可決となりました。

反対討論

第1号議案

第6号議案

第9号議案

第14号議案

第15号議案

第19号議案

賛成討論

第20号議案

第21号議案

第6号議案

第14号議案

第15号議案

第20号議案

その他の議案

桶川市坂田西特定土地区画整理地内の5千717平方メートルの保留地等を桶川市土地開発公社から公共用地として取得するものです。

3月定例会で審議された議案とその結果

市長提出議案

○は賛成 ×は反対 キは棄権 ※議長は採決に加わらない

議案番号	議案名	議決結果	新公会										公明党		新風クラブ21		げやき		無党派	
			臼田喜之	大隅俊和	市川幸三	加藤正志	糸井政樹	相馬正人	仲又清美	保坂輝雄	岩崎隆志	佐藤洋	町田俊朗	江森誠一	関根武	島村美貴子	新島光明	渡邊光子	永野朋子	
第1号	平成26年度桶川市一般会計補正予算（第5回）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第2号	平成26年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算（第3回）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	平成26年度桶川市公共下水道事業特別会計補正予算（第3回）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	平成26年度桶川市介護保険特別会計補正予算（第3回）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	平成26年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	平成27年度桶川市一般会計予算	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第7号	平成27年度桶川市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	平成27年度桶川市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	平成27年度桶川市介護保険特別会計予算	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第10号	平成27年度桶川市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	桶川市行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	桶川市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	桶川市図書館設置条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	キ	○	×	
第15号	桶川市体育施設設置管理条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第16号	桶川市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	桶川市放課後児童クラブ設置管理条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	桶川市児童発達支援センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	桶川市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第20号	桶川市いじめ防止連絡協議会等条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第21号	財産の取得について	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第22号	平成26年度桶川市一般会計補正予算（第6回）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第23号	平成26年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4回）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号	桶川市職員の給与に関する条例及び桶川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	キ

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

地域包括ケアシステムの構築について

保坂 輝雄

複合式

問

地域包括ケアシステムとは、団塊の世代の方が75歳以上となる2025年に向けて、医療、介護等のサービスを継続的かつ包括的に提供する仕組みのことで、地域の課題に応じた自治体ごとの独自のシステムの構築が求められている。

答

早期対応のため体制の整備が必要だと考えています。

システム構築に当たっての桶川市の課題として、一部、不足している施策がある点と医療、介護等の連携が十分でない点の2つが考えられる。

問

初期対応のため体制の整備が必要だと考えています。

初めに、1つ目の課題の不足する施策のうち、認知症対策を伺う。本市の現在の認知症高齢者数と2025年時点の予測は。

答

早期対応のため体制の整備が必要だと考えています。

問

早期対応のため体制の整備が必要だと考えています。

答

現在1389人で、2025年には概ね1900人程度に達すると予想しています。

問

認知症対策は早期発見、早期対応が重要であり、医師会と

答

早期発見、早期対応が重要であり、医師会と

成28年度に予定しており、準備を進めています。本市の連携の方向性決定のための

問

成28年度に予定しており、準備を進めています。本市の連携の方向性決定のための

機関として大いに期待するが、実際の連携は現場の第一線で行うものであり、1人に焦点を当てて、個別事例の検討を通じて、地域で高齢者の支援を行うことが大切である。

答

よって、早急に地域包括支援センターごとに地域ケア会議を開催し、個別ケースを検討すべきだと考えるが、どうか。

問

よって、早急に地域包括支援センターごとに地域ケア会議を開催し、個別ケースを検討すべきだと考えるが、どうか。

答

よって、早急に地域包括支援センターごとに地域ケア会議を開催し、個別ケースを検討すべきだと考えるが、どうか。

問

よって、早急に地域包括支援センターごとに地域ケア会議を開催し、個別ケースを検討すべきだと考えるが、どうか。

答

よって、早急に地域包括支援センターごとに地域ケア会議を開催し、個別ケースを検討すべきだと考えるが、どうか。

問

よって、早急に地域包括支援センターごとに地域ケア会議を開催し、個別ケースを検討すべきだと考えるが、どうか。

市民ホールの駐車場料金は必要最小額に

渡邊 光子

複合式

問

市長答弁に「市民団体から駐車料金引き下げの要望があり、解決すべき課題だ。市民ホール駐車場料金は指定管理者の収入であり、施設の管理運営経費の一部を補完する。駐車場料金の値下げによる委託料の値上げを懸念する。市民ホールの立地上、駅利用者等の駐車防止を図ることや周辺民間駐車場との競合を回避する課題がある。市民ホールがさいたま文学館との共館施設であり、ともに利用料金は条例事項であり、埼玉県と協議が必要。全面的な利用料金の値下げ及び無料化は難しいが駐車料金の値下げと、委託料の値上げという部分で現行の制度上の解決すべき懸念される課題の一つとして提示を受けた。文化振興の観点から、例えば割引券の配布、上限の設定を

答

含む何らかの減額措置も講じていく。今後指定管理者と協議して県にも協力を要請する。26年4月から新たな指定管理の年次が始まる。しっかりと調査していく。」とある。本年2月20日の利用者懇談会では「無料時間の1時間前に車の出入庫を繰り返す」という人もいた。指定管理者のけやき文化財団の説明は「駅の至近にあり、路線バスや循環バスの公共交通機関の利用促進の観点から有料が望ましい。」という。私は市民ホール駐車場の有料金の引き下げについて約11年間継続して課題としてきた。25年には5枚、26年4月からは15枚の無料券が市民ホールの利用主催者に発行されるに至った。カラオケ発表会は主催者と出場者だけで2百人近い。観るために会場へ足を運ぶ人も

問

も含めると7百人強にもなり駐車場を利用する人も多い。15枚の無料券にあやからぬ多くが駐車場の有料金を支払う。始めの1時間は無料だが30分で100円、1時間で200円は大宮駅周辺なみの高い料金だ。市民ホール駐車場料金は、桶川市に適した必要最小額にすることを問う。

答

さいたま文学館は長時間の利用者が見込めないため、埼玉県は駐車場料金のみを条例改正はしないとのこと。桶川市は減免規程を改正し、長時間利用者への対応は可能という結論に至り、25年は5枚、26年4月からは15枚の無料券を発行しています。

25年12月の総務常任委員会、指定管理者として応募した際、けやき文化財団側から『無料券の発行で十分だと思いが、上限の千円について、今後検討していく。』との提案があった。」と

答弁しています。

議会改革の一環として、一般質問の質問方法を従来の「一括式」と「複合式（2回目の質問から一問一答）」を選択できるようにしました。

市民の為の協働事業

白田 喜之

複合式

問 現在までの協働事業として、活動と意義、今後の可能性について、地区社協を通じ問う。

答 協働とは、異なる組織が対等な立場に立ってお互いの特性を生かし、一つの目的に向かって課題の解決を図ろうとするものです。

地区社協が市内に多く設立されることで、高齢社会に対応する協働事業のパートナーとして期待される団体です。

27年度、経済産業省が「地域に密着した少子高齢化に対応する商店街や、保育サービスの施設など子育て支援の取り組みや高齢者の健康の増進を目的としたサービスの提供などの地域に貢献する取り組みをした場合、3分の2を出す」という答弁を求め、これについて答弁を求めます。

商店街支援補助金ですが、商店街もしくは商店街と連携をとった民間事業者などが補助対象となり、3分の

2を国が出し、申請者の負担は3分の1です。あくまでも申請については、商店街が申請をすることになっていきます。

この審査のポイントは、行政側がどの程度かわかっているかというようなこともうたわれており、そのかわりの度合い、また市町村の地域まちづくり計画との整合性がとれているかも揚げられていますので、市としては、いろいろなメニューがあるようにするので、ぜひやってみたいという商店街等ありましたら、積極的に市としても計画作成における支援等行っていきたいと思いますし、また今後このような補助金等の通知があった際には、積極的に商工会等を通じて、情報提供等もしていきたいと思えます。そこで、取り組みたいというところがありましたら、市も全面的に協力をしていきたいというふうには考えています。

地方創生戦略の推進について

岩崎 隆志

一括式

問 「まち・ひと・しごと創生法」に基づいた桶川版「地方版総合戦略」について。

答 人口減少や少子高齢化が進展する中にあり、ますます都市間競争が激しくなると推察します。従来までの施策の効果を十分検証し、結婚・出産・子育て・教育といったそれぞれのサイクルに応じた切れ目のない施策を展開していく必要があると考えます。

問 地元産業の競争力強化や企業誘致について伺う。

答 圏央道や上尾道アクセシ性の向上が図れると考えます。また、企業誘致につきましては、圏央道桶川加納インターチェンジの開設に伴い、利便性が高まるため、埼玉県の田園都市産業ゾーン基本方針に即した開発

をを目指します。

問 2014年度補正予算の執行に伴う本市の戦略について伺う。

答 プレミアム付き商品券の発行、教育や子育て支援事業を進めます。

問

商品券は、消費喚起策として期待度が持てる政策だが、どの様な内容か。

答 発行日は本年の7月中旬ごろ、有効期限は6カ月以内です。プレミアム率は30%、ワンセット1万円で、3万1,000セットご用意します。できるだけ多くの方に商品券を買っていただくために、全世帯に引換券を郵送します。商品券を使用できる場所は、桶川市商工会の会員が中心となります。以上のような計画で今調整中です。

消防水利の配置計画について

問 命と財産を守り、被害を最小限に抑えるために、現状の施設でも可能であるが、現状でよしとするのではなく、さらなる充実を図るものがあると思うかがか。

答 消防水利を充実させることは、火災から市民の生命と財産を守り、被害を最小限に抑えるためにも大変重要であると認識しています。市民が安心して暮らせるよう、現状でよしとすることなく、今後も消防水利の充実に努めます。



「子ども・子育て支援新制度」
による幼児教育及び保育の
現況について

仲又 清美

一括式

問 新制度の各保育施設の申し込みと入園までの流れは。

答 満3歳以上の児童で教育を必要とする場合は、直接認定こども園に申し込みをしていただきます。3歳以上または3歳未満の児童で保育を必要とする4月の新規入所希望の児童は、昨年12月初旬に認定申請書兼施設利用申込書を市に提出いただき、1月30日付で決定通知しました。

問 新制度では、保育標準時間と保育短時間の申し込み方法があるが従来との違いは。

答 現行制度は、保育に欠ける児童とし、主にフルタイムの就労を想定した入所要件でした。新制度は、保育を必要とする児童という要件で、広く拡大し、フルタイムの就労を想定した保育標準時間と、パート

タイム等、短時間の就労を想定した保育短時間が2つに分類されました。

問 一時預かりなど緊急を要する保育への対応は。

答 一時預かりなど緊急を要する保育への対応は、従来通り、希望する保育園と直接協議して利用いただきます。

問 新制度の地域型保育事業のしくみは、従来の家庭保育室が廃止になってしまふのか。

答 現況は、6つの家庭保育室のうち1施設は、都合で廃止ですが、3施設は、小規模保育施設へ移行、残り2施設は、制度改正の激変緩和措置として、従来の家庭保育室の予定です。

問 新制度に移行しない私立幼稚園と認定こども園の違いは。

答 教育標準時間は私立幼稚園も認定

こども園も同じ内容です。ただし、認定こども園は、保育時間が、加わった内容となっています。

新庁舎が建設されるまでの期日前投票所について

問 仮設庁舎が期日前投票所になるのか。新庁舎が建設されるまで東側に、期日前投票所を設置できないのか。

答 来る埼玉県議会議員一般選挙から期日前投票所は、分庁舎を指定します。東側の期日前投票所については、条件を満たす施設の確保は、難しい現状です。

問 近隣市は、投票率アップのため、駅を中心に設置している。本市は、東口駅前開発の進捗で厳しいのは承知だ。それまでは、総合福祉センターなどでできないか。

答 貸し館施設は、利用者には不便をおかけすることになり、確保は難しいです。

西側大通り線整備事業について

江森 誠一

複合式

問 西側大通り線の第一工区の延長約237mの整備状況について伺う。また、平成26年度末の開通で進捗しているのか確認したい。

答 第一工区は現在工事中であり、2月末現在の工事進捗率は約90%で、計画どおり今年度内に完成する予定で進んでいます。

問 第二工区の延長約204mの進捗状況について移転戸数と土地買収の状況について伺う。

答 移転対象戸数は13戸で、平成27年2月下旬から用地交渉を始めています。今年5月末までに補償調査の結果を対象者全員に説明し、順次契約を行う予定です。

問 第二工区の開通時期について伺う。

答 平成27年度から平成29年度にかけて用地買収、平成30年度に

問 加納原地区における産業誘致地区の状況について伺う。

答 現在都市計画の変更、県雨水流出抑制施設の設置条例許可土地区画整理事業認可について、年内の手続完了を目的に協議を進めているところだ。

問 区画整理事業認可時期及び企業誘致時期について伺う。

答 土地区画整理事業認可取得を今年末ごろと見込んでおり、その後事業者により造成工事に着手しますので、並行して進出企業も確定し、順次建築行為も行われるものと考えています。



西側大通り線 第一工区が開通

田園都市産業ゾーン推進事業について

平成27年度から平成29年度にかけて用地買収、平成30年度に

公共施設の予約システムについて

相馬 正人

一括式

問

平成26年12月1日から仮予約の受け付けサービスが可能となったが、今後の機能拡大予定についてはどのようなになっているのか。

答

昨年の12月から各公民館及び城山公園において仮予約の受け付けサービスを開始し、市民の皆様の利用状況などの把握に努めています。

今後の展開については、当面の間は現状のサービスを継続する中で、使い勝手などを確認し、利用者の皆様の状況などを踏まえた上で、機能の拡大についても検討してまいりますと考えています。

問

空き状況だけでも、他の施設の状況をホームページ上でお知らせすることは出来ないか。

答

リアルタイムでの予約状況の公開を行うためには、各施設

す。また、総合運動場についても、インターネット予約を開始いたします。

市民への情報や観光情報の提供について

問

リアルタイムな情報提供について、どのようにお考えか。

答

新たな取り組みとして、テレビ埼玉のデータ放送を利用した情報提供サービスを行います。このサービスは、市町村情報をテレビ埼玉の画面に文字情報として表示するサービスで、新しい情報提供の手段になるものと考えています。

また、既存のツイッターでの情報発信等を利用していただきながら、リアルタイムな情報提供に努めてまいりたいと思います。

グラウンドゴルフ練習場の整備について

新島 光明

複合式

問

グラウンドゴルフ人口が増えている中、各公園の利用状況や新たな練習場確保に向けた市の考え方は。又、公園利用者の立ち小用問題解決の為の下日出谷第1公園へのトイレ増設は。

答

公園整備迄の暫定使用の為、27年にトイレ・水道の設置と管理要綱の準備を進めています。

問

マイン屋上が利用されていないから借用し、人工芝を張って利用できないか何う。

答

ご提案のマイン屋上利用は、確保できる面積・条件等を新都市ライフに確認していきたいと思えます。

非常勤（臨時）職員の労働条件改善について

問

12月議会で議員職員等の期末手当が改定された。ただ、正規職員と共に市民サービスを担う臨時職員は対象外。昨年最低賃金が改定されたが、臨時職員の賃金にどう反映させるか何う。また、総務省通知で

答

臨時職員の通勤手当支給も可能とあるが桶川市の現状と今後の予定を何う。

答

27年度賃金は、最賃改定を受け840円と10円アップを予定しています。月給制臨時職員賃金の改定は予定していません。通勤手当の支給はありませんが、ただ車通勤の場合駐車を認め、駐車料金は徴収していません。今後は手当支給と職員同様に駐車料金徴収を含めて検討する必要がありますと考えています。

問

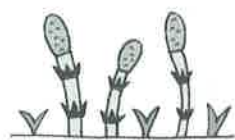
月給制臨時職員だけが放置された状態に思える。何故か？再度何う。

答

放置したわけではありませんが、最低賃金改定や近隣状況も踏まえ調整し検討していきたいと思えます。

問

2キロ以上の通勤者の場合は職員と同様に自転車等利用者への支給も検討していただきたい。



公職選挙法の改正と 投票率向上について

島村美貴子

一括式

問 公職選挙法改正の内容とその動向及び本市への影響と対策について。

答 報道によると、選挙権年齢を20歳以上から18歳以上へ引き下げる改正案を国会に提出したようです。この法案が成立した場合は、公布して1年後からの適用となりますので、早ければ平成28年度の参議院議員選挙から実施となります。この改正に伴い、選挙人に送付している入場券や、選挙人名簿の作成及び期日前投票システムの改修等の対策が必要となります。

ク内に期日前投票所を設ける考えは。

答 マインの改修後の状況を確認した上で、前向きに検討して参りたいと思います。また、ベニバナウオー

問

ベニバナウオーは、防災かまどベンチや災害マンホールトイレが設置され、災害時には地域の避難拠点として活用できる施設となっている。災害時支援協定を締結する考えは。

答

現在協定締結に向けて協議を始めるところです。今後、提携の方法や協定の内容等について具体的に調整を進めて参ります。

問

災害時にはドッグランをペット受入れスペースとして活用することやペットフードの供給等も協定の内容に盛り込んで協議していただきたいが、いかがか。

答

十分協議させていただきます。

問

桶川マインとの協定締結についてはどのような考えか。

答

今年の夏頃にリニューアル工事をを行い、秋頃のオープンと伺っており、オープン後どんな内容で協定締結が可能か協議して参ります。

厳しい財政の見通し

佐藤 洋

複合式

問

(1) 歳入。市税と交付税と市債の5年間の数値と今後の見通し。

答

① 歳入の① 5年間の数値と今後の見通しですが、市税は、平成22年度の約101億円から減少傾向が続いています。今後の見通しは、横ばいないし減少傾向になるものと考えています。地方交付税は、32億円から34億円程度で推移しています。市債は、新庁舎建設や駅東口整備などの大規模な事業が予定されていることから、増加していくものと考えています。(2) 歳出の①②ですが、総務費は、30億円程度で推移しています。

問

(1) 歳入。新庁舎建設により平成28年度から29年度の2年間で大幅な増額が見込まれるものと推測しています。民生費は、概ね70億円から75億円に右肩上がりが増加しているところでは、衛生費は、15億円程度で推移しており、一部事務組合でのごみ処理施設の建設で、18年間で30億円程度と考えています。商工費は、道の駅の整備に多額の財政支出が予想されます。土木費は、25億円程度で推移しており、駅前広場の整備に多額の財政支出が見込まれます。

問

桶川市全体の今後の主要事業を聞き、人口減少化傾向と市税の伸び悩みが予想される。東口、庁舎、民生費、ごみ、道の駅、区画整理、西側大通り線、坂田寿、橋の修理、道路の修理と、かなり財政的な支出が予想される。説明責任をきちり果たし、できるものできないものを取捨選別していく時代に突入している。小野市長の舵取りかなと思うが。

答

佐藤議員が言うように、生産年齢人口の減少で、市の主要財源である市税収入が見込めない状況です。社会保険関連経費、義務的経費が増加傾向にあるのが現状であり、決して楽な状況ではありません。

17号坂田交差点 危ない

問

17号バイパス坂田交差点の歩道橋は、あまり中学生が渡っていないので危険ではないか。

答

安全指導を連続した3日で実施しています。

問

これを五月雨式にして、カンバンを建てたら。

答

五月雨式にして、カンバンを建てたら、交通安全に取り組みます。

桶川マインの3階を中央図書館にすることが検討されているが、投票率の向上の観点から、マインに期日前投票所を設置し、駅前投票を可能にする考えは。また、ベニバナウオー

災害時支援協定と
ショッピングセン
ターとの連携

庁舎建設計画について

永野 朋子

複合式

問 財産として残らない仮設庁舎の建設事業者選定をなぜプロポーザルにしたのか。

答 限られた敷地で、プレハブという制約の中、設計から施工まで、企画、計画、実行力が求められるからです。本来競争入札に

問 すべきものなのに、割高になる随意契約だ。歩いただけでも床がたわむ、会議室の音が漏れ、構造的な問題があるが。

答 仮設庁舎なので、支障もありますが、ご理解をいただきたい。追加施工の市長室前の仕切り壁は、民法と契約規定に基づく手続きをふまえたものか。

問 ちよつと時間的なあれは後追いにしたのですが、設置後に所有者に確認しました。新庁舎建設計画、契約条件より、な

ぜ9億円も高くなったか。

問 建設コストが高騰しすぎた為です。

答 32億円は元々設計の前提条件だ。

説明会を延期し、契約履行期間は守られていない。

問 もう一度コスト面から圧縮した案で、市民説明を行います。

加納原地区の開発による周辺への水害対策

問 高野戸川周辺は、加納中の校庭も含め一帯が浸水し、対策が求められている。市のハザードマップでも浸水ラ

答 企業誘致で盛土して水は周辺に広がらないのか。条例に基づき調整池等を設けます。

問 河川の増水で、危険な状態になっている。水害から市民を守る災害対策法の趣旨か

ら、責任ある答弁を。

答 校庭は水が溜まる構造です。河川

改修は下流からなので、市としては、今できる将来に備えた対策を開発に

旧陸軍飛行学校の整備

問 文化財保護業務は、地方教育行政

答 登録有形文化財にしたほうが補助金等を得やすいからです。

問 権限がない業務に関する調査委託

答 権限がない業務に関する調査委託の執行も法の規定に抵触する。まして、公費で平

問 長崎に行き、ついでに知覧特攻平和会館に寄って寄附を集めるなどという市長の行為は許されない。市民の危惧や反発を生む。別に知覧をめざしてはいませんか。

一般質問の際の質問方法について

平成27年3月定例会から一般質問の質問方法を「一括式」か「複合式」のどちらかを選択できるようにしました。

「一括式」は、質問及び答弁を一括して行います。「複合式」は、1回目の質問及び答弁は一括して行い、2回目以降を一問一答方式で行います。

議会への請願

【請願の提出方法】

国民が国や地方公共団体に対し、一定の希望を述べることを「請願」といいます。

① A4判の用紙で横書きで記入してください。
② 件名、要旨及び理由を簡単に書いてください。
③ 提出年月日、請願者の住所、氏名を記載し、押印してください。
④ 紹介議員1名以上の署名・押印が必要となります。(審議結果は紹介議員を通じてお知らせします。)

提出することができます。一方は一部例外を除き、当該地方公共団体の住民でない方・外国人の方・法人でも可能です。桶川市議会へ請願書を提出する場合は、下記書式を参考にしてください。

るような簡易な図面、参考資料等を添付してください。

⑥ 定例会開会日の4日前までに提出すれば、その定例会で審議します。提出が遅れた場合は、次の定例会での審議となります。なお、「意見書を提出してください。」という請願は、紹介議員がいると原案を提案できるため、紹介議員とご相談ください。

【請願書の記入例】

【表紙】
請 願 書
紹介議員 ○○○○ 印
○○○○ 印

【2枚目】平成 年 月 日

桶川市議会 議長

請願者 住所 氏名 印

下記のとおり請願いたします。

- 1 件 名 ○○○○について
- 2 要 旨 ○○○○○
- 3 理 由 ○○○○○

第3回議会報告会を開催しました

桶川市議会では、市民の皆様には、議会で決定した内容や経過などを説明し、議会活動についての状況を知っていただくために、議会報告会を開催しています。

平成27年2月13日(金)に「第3回 議会報告会」を開催し、11人の方にご参加いただきました。

なお、報告会では、全ての内容についてご説明できませんが、詳細については、市議会ホームページをご覧ください。

桶川市議会ホームページアドレス

<http://www.city.okegawa.lg.jp/gikai/index.html>

◆ 主なご意見等 (アンケートから)

- ❖ 参加人数が少ないが、これでは意味がない。報告会から討議会にしたほうがよい。
- ❖ 挨拶のとき何を言ってるのかわからない感じなので、常識的にはっきりとした口調でやってもらいたい。挨拶の第一印象で常識をもった好印象でやってもらわなければ、「民間と違って役人は評価できない」というレッテルを永久にはられてしまうことを考えてもらいたい。
- ❖ 議会に関心が持てる努力をしてください。
- ❖ 都合の悪い答えにくい質問に対して「意見を交換する場ではない」と答えるのであれば、市民のあきらめがもっと拡がります。議事録を読めというのは暴言。
- ❖ 若い人、女性が参加しやすい様に考えてほしい。
- ❖ 攻撃的質問は耳が痛いですね。また開催して頂きたいと思います。
- ❖ 寒い夜は多くの方が出にくい。
- ❖ 関心持たれる議会を。
- ❖ 早口で聞き取れなかった。
- ❖ 若い人に出て欲しい。
- ❖ 投票率アップと同じく「日曜日午後」を希望します。

◆ アンケート集計結果

1) 回収: 9枚 (参加者: 11人)

2) 性別・地区別等について

① 性別は

男	7人
女	2人

② 参加回数は

初めて	3人
2回目	6人

③ お住まいの地区は

桶川(東)	3人
桶川(西)	6人
加納	2人
川田谷	0人

3) 年代は

20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
0人	0人	1人	1人	6人	1人

4) 議会報告会の開催をどのように知りましたか。

1. チラシ(市広報と同時)を見て	5人
2. 議会ホームページを見て	1人
3. おけがわ市議会だよりを見て	3人
4. その他	0人

5) 議会報告会に参加した感想をお聞かせください。

① 開催の評価は(※無回答1人)

評価する	8人
どちらともいえない	0人
評価できない	0人

② 説明については(※無回答2人)

分かりやすかった	2人
どちらともいえない	3人
分かりにくかった	2人

③ 開催時間については(※無回答2人)

長かった	2人
ちょうど良い時間だった	3人
短かった	2人

④ 会場については(※無回答1人)

広すぎる	0人
ちょうど良い会場だった	8人
狭すぎる	0人

◆ 主な質疑・回答・要望等 (抜粋)

決算特別委員会の指摘事項への質疑

- Q きわどい看板について市内の状況は。
A 市内にはありません。
- Q ホームページの改善について現況は。使い勝手が悪く、議会のホームもすぐには開けない。
A 担当部署に議会からも、市のホームページ改善について要望します。
- Q 議会報告会前に直前の議会会議録が見られるよう、もっと早くアップして欲しい。また、古いデータ等も参考になるよう残して欲しい。
A 会議録については委託の関係もありますが、改善できるか検討します。
- Q 保育所の園庭の危険物除去について現況は。
A 現在は、改善されています。

桶川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の質疑

- Q 世帯年収780万未満の方への影響は。
A 現行と変わりません。
- Q 各自治体で限度額を定めるのは不公平ではないか。
A 平成28年度を目途に県単位になれば、同じになります。

埼玉中部資源循環組合の設立についての質疑

- Q 現行のランニングコストが3億、今後1億となるのには賛成だが、現在不法投棄などの苦情も多く、今後は吉見町とのやり取りになるのか。
A リサイクルなどの機能は桶川市に残りますので、広域になっても桶川の問題は、桶川で相談、対処することになります。
- Q 分別の仕方も見直して欲しい。
A 今後、決めていくことになります。
- Q 上尾市との共同処理が不調に終わった原因は。
A 人口の増加とごみの増加が予想より伸びず、上尾市が新たな焼却施設は設置しないと判断したためです。
- Q 運搬時間が長くなるが、従来と変わらぬ収集時間を確保できるのか。
A 市民の要望を斟酌し、決めていきます。

市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の質疑

- Q 議員の手当はどのくらい上がるのか。
A 年間で総額1,179,000円で、一人当たり65,500円程度上がります。

桶川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の質疑

- Q 自転車通勤者への手当はやめるべき。全国で埼玉県は給料が高い。
A 人事院勧告によっているため、そのようなことはありません。

市政全般への意見・要望等

- ◇ プレミアム商品券の運用に工夫を。国の提案であっても、市民全体が利用できるように議会で提案して欲しい。
- ◇ ごみ処理が広域化になった場合、二重行政で経費が上がることがないように指摘しておく。
- ◇ ごみ処理の広域化で経費が下がるような言い方だが、足湯にかかる経費なども単純にコストの比較はできない。どのようにデータ比較したのか。平成33年稼働は難しいのではないかと。現地で地域の人達の話聞いたのか。3月議会の検討課題として欲しい。
- ◇ 圏央道周辺等、企業誘致を進めて欲しい。

声の市議会だよりのご利用を

桶川市議会では、ボランティアの皆さん(紅花の会)のご協力により、「声の市議会だより」を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

定例会のお知らせ

6月定例会は、平成27年6月2日から開催する予定です。
議会を傍聴しましょう。

◆3月議会傍聴者数

月 日	男	女	計
2/23	2	0	2
2/24	0	0	0
3/ 4	0	1	1
3/12	11	0	11
3/16	1	0	1
3/17	0	0	0
3/19	0	0	0
3/23	0	0	0
3/24	0	1	1
合 計	14	2	16

◆第4回議会報告会 開催のお知らせ

桶川市議会では、市民の皆様には議会で決定した内容や経過などを説明し、議会活動についての状況を知っていただくために、下記の日程で議会報告会を開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時

平成27年**5月10日**(日曜日)
午後2時～(1時間半程度)

開催場所

加納公民館 2階 大会議室

※お車でお願いいただく場合は加納公民館となり、氷川神社様の駐車場(裏手の空地)もご利用いただけます。

報告概要

3月(平成27年第1回)
定例会の内容について

会議録はインターネットで公開しています。

桶川市議会では、議会の内容や議員の紹介をはじめ、『会議録検索システム』により定例会・臨時会・議案や請願審査を行った委員会の会議録を公開しています。また、検索システムからは『議会日程』や『一般質問』など、順次公開しています。ぜひご覧ください。



桶川市ホームページ



市議会



桶川市議会HP

桶川市議会ホームページアドレス

<http://www.city.okegawa.lg.jp/gikai/index.html>

編集後記

新年度の予算を決める3月議会は、1月から業務を開始している仮設庁舎で行われました。

仮設の議会傍聴室は壁が薄く、隣の会議室の音が漏れて、議場の声が聞きとれない状況があるようです。

今後は、議会の開会中には、会議室の運用を考慮するとの事です。

多くの市民の皆さまに市政に関心を寄せていただき、様々なご意見をいただけるように、庁舎機能等の環境をはじめ、開かれた議会に、今後も改善に努めてまいります。

(永野)

議会だより編集委員会

委員長 加藤 正志
副委員長 岩崎 隆志

委員 新島 光明

委員 永野 朋子

委員 佐藤 洋

委員 相馬 正人

委員 島村美貴子
委員 大隅 俊和